学校の教育目標　「心豊かで　たくましい生徒」

東　安　魂

東安中学校だより
R5．12．26
No．9

学校最大の危機「いじめ」に立ち向かう

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校
校長　木下　隆一

「いじめは、絶対によくない。」このことは誰もがわかっています。しかし、大昔からそう言われ続けているのに、未だになくなっていません。

東安中では、いじめはない、と思いたい。でも教師の目に届かないところで起きているかも知れません。

ある脳科学者は、いじめは、人間が生存率を高めるために、進化の過程で身に付けた機能である、と述べています。

大昔、狩猟と採集の生活をしている人間は、一人では野生のナウマン象などに勝てないことを知っていました。協力し合わなければ、食料を得ることもできなかったのです。

集団で、凝集力を高めなければ、命の危険にさらされる。そこで集団に貢献しない者、逸脱する者には、罰を与えるようにしました。この機能が高まり、人と違う、突出している、それだけで「罰を与える機能」が働いてしまうことを、オーバーサンクションといいます。これがいじめの正体であるというわけです。

人に罰を与えるとき、人間の脳には、正しいことを行っているときや、褒められたときと同じ神経伝達物質が発生するそうです。また、集団で罰を与えるとき、理性が鈍化し、道徳的判断力が低下することがわかっています。オーバーサンクションを受け入れてしまう脳を、私達はもっているのです。

ですがよく考えてください。人間の生存率を高めるために行っていた「罰を与える機能」＝いじめ　により、自死に追い込まれたり、人の人生がずたずたにされたり、･･･それっておかしくないですか？

立場が弱いから、罰を受けるんですか？人と少し違うから、仲間はずれにするのですか？

たくさん人数がいれば、それは正義ですか？少数派は、間違っているのですか？

強い子は、弱い子に暴力、からかい、陰口をしていいのですか？　運動ができる、勉強ができる、けんかが強いと思っているあなたは、別の集団の中では弱者ですよ。いじめられていいのですね？

狩猟と採集の時代に、役に立たない、集団を乱す者は罰を受けたというなら、獲物を獲得するため、勇敢に狩りをした結果、骨折してしまった人は、いじめを受けるのですか？かつては勇敢に狩りをしたけれど、年を取って役に立てなくなったら、いじめられるのですか？

そもそも、あなたは、いじめられて平気ですか？そんなわけありませんよね。

かつて暴力以外の仲間外れ、無視、陰口をされたことがありますか、という調査には９０％の中学生が「された経験がある」と答えています。反面、した経験はありますかという調査にも、９０％の中学生が「した経験がある」と答えています。いじめは、他人事ではないのです。あなたを簡単に被害者にし、加害者にします。

大切な命を奪ってしまうこの機能「いじめ」。私達が一生懸命考え、いろいろ学んで、道徳性を発揮し、乗り越えていかなければならないものなんです。

いじめを許さない･･･この気持ちを、東安中生にはもってもらいたいです。放っておけば、勝手に脳内で、いじめを認めていってしまいます。

私がいろんな場面で話している言葉「人の痛みのわかる子になってほしい」これがわかる子は、いじめをできません。相手の立場に立つ･･･この感性を、若いうちに磨いておく、これが、あなたの周りからいじめを遠ざけ、あなたをいじめの当事者にしない、一番の方法です。立場の弱い子を何とかしたい、また、自分が立ち場の弱い側だったら、どうしてもらえることが一番有り難いか･･･こうやって考え続けることが、あなたの感性を磨きます。人権担当の森下先生の話では、人は誰一人同じではない、違っていて当たり前、だからこそかけがえのない命であること、また、一人では生きていけないから、それぞれの特性を理解し、受け入れながら、共生社会をつくっていくことが伝えられました。本当にその通りだと思います。

東安中人権宣言には、

差別や偏見におかしいと気付き、周りの大人や友達にまずは伝えよう。

一人で抱え込まず、自分の気持ちを言葉にしよう。というものがあります。

おかしい、と思ったとき、誰かに必ず伝える。それによって救われる命があります。「チクる」のではありません。仲間を救う言葉を発するのです。苦しい思いをしているとき、必ず言葉にして、誰かに伝えてください。それによって救われるあなたがいるはずです。

仲間にかかわり続けること、つらい思いをしている一人にかかわり続けることを、東安中というミニ社会でできなかったら、実際の社会でできるはずがありません。いじめを許さない。そんなあなたでいてください。

（人権パワーアップ集会　校長挨拶に加筆）

12月7日（木）　1年生 防煙教室

１年生を対象に、たばこの害について学ぶ防煙教室を行いました。たばこに含まれる有害物質によって成長期の中学生の成長を阻害したり、思考力や集中力が低下して学力に影響を及ぼしたりすることが分かりました。
自分の健康や行動に責任を持って適切に対応できる意思決定する力を身に着けてほしいと願います。

12月8日（金）　2年生 職場体験学習

２年生が、校区の安八町・墨俣町を中心に３２の事業所にお世話になり、職場体験学習を行いました。接客マナーや商品整理、掃除など、様々な体験をさせていただく中で、働くことの楽しさや大変さ、やりがいを学ぶことができ、自分の将来を考えるよい機会となりました。
お世話になった事業所の皆様におかれましては、職場体験を快く引き受けてくださり、誠にありがとうございました。

12月11日（月）　1年生 いのちの授業

安八町保健センターの保健師さんを講師にお招きし、１年生「いのちの教育」講座を行いました。
講話を聞くとともに、妊婦シミュレーターを装着したり赤ちゃん人形を抱っこしたりする体験を通して、受精から出産までの赤ちゃんの様子や思春期の心と体の成長について学習しました。
また、将来命を生み、育てていくという大切な役割を担っているため、自分も自分の周りの人も大切にすることを学びました。

12月18日（月）　フラワー・スマイル・プロジェクト

本年度で２回目のフラワー・スマイル・プロジェクトを行いました。７月に墨俣地区を対象に行った花の配付に続き、ボランティアの生徒が育てた花を結地区の方々に届けました。笑顔で何度もお礼を言っていただける方がいるなど、地域のお年寄りに笑顔になっていただきたいという自分たちの願いが伝わり、生徒たちは自己有用感を感じることができました。
花を届けるお宅の調整等にご協力をいただいた民生児童委員の皆様をはじめ、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

12月22日（金）　赤い羽根共同募金

全国一斉の「赤い羽根共同募金」の実施に合わせて、生徒会を中心に募金活動を行いました。生徒や保護者の皆様の温かい善意の気持ちをお寄せていただき、ありがとうございました。
安八町の社会福祉に役立てていただくよう、集まった募金を社会福祉協議会に届けました。また、特別支援学級の生徒が制作したかごやペン立てなどを安八ふれあい祭りで販売した収益金も合わせて寄付しました。

【令和６年１月の行事予定】　　【２月の行事予定】

※　行事予定は削除してあります。

【緊急連絡先】東安中学校：62-5408　学校携帯：　　安八町役場：64-3111
※　閉庁日の緊急連絡は安八町役場にお願いします。
保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。皆様、どうぞ良い年をお迎えください。